



半澤利貞

大峰の百番観音を 世に出せ

質問

去る5月28・29日に会津若松市で御詠歌の全国大会が開かれて、1万2千人が集結したそうであります。

かなりの経済効果が発生します。残念ながらこうした大きな施設はありませんが、先人が残してくれた大峰の百番観音があります。昭和6年9月1日に石打の岡村貞翁、古野の南雲喜之七翁の尽力で上越線(宮内〜高崎)が開通。併せて西山に佐藤潤一氏が温泉を掘りあて湯沢中が沸き上がった時代には宝珠庵三十七世任職中村無外師が先達となり、百番観音を建立した。

東京堂の創立者大橋省吾氏の御令室で谷地出身のかう子様より、3千円の浄財を頂戴し善男善女70有余名の労働奉仕で完成した一大事業であったと湯沢町誌に記されております。

四国だけが巡礼の聖地では無い。三条市の神立出身者から金も出すから売り出してくれと言われている。町長の考えを伺います。

町長答弁

山を切り開き苦勞をして造ってくれた百番観音、地区公民館でも新緑百番観音トレッキングとして取り組んでいるようでもあり前向きに検討する。

質問

NPOが造った小冊子に毘沙門天の記載が無くて残念に思っている。夏祭りには、甚句の輪が出来る湯沢唯一の毘沙門天であり、昭和63年には、町の文化財に指定されている大杉・観音杉・天狗杉やお堂の中には、豪天井の絵もある。

電通や博報堂に委託ばかりして眠っている郷土の財産を掘り起こす努力をしない職員はしっかりしろ。

町長答弁

毘沙門天については、次回湯沢検定に入れてもらうようにする。歴史の掘り起こしに取り組む…。



大峰山の百番観音